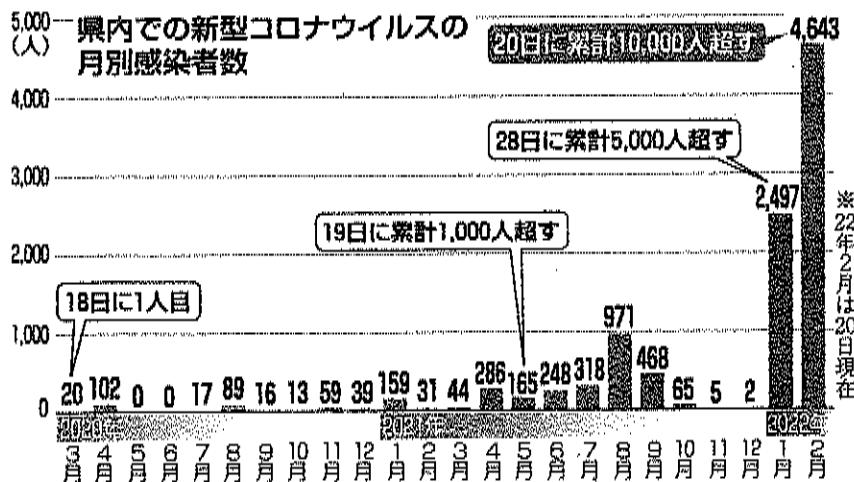


コロナ第6波猛威



5000人から23日間で

県内での新型コロナウイルスの感染者が二十日、一人を超えた。県が同日発表した新規感染者は二百九十二人で、累計一万二百五十七人になった。感染者の累計が五千人を超えた先月二十八日からわずか二十三日で一万人を突破しており、オミクロン株による感染「第六波」の相違いの猛威があらためて示された。

新型コロナ関連⑥⑩面

県によると、感染者の累計が一万人に到達したのは全国の都道府県で四十一番目に。二〇二〇年三月十八日に県内で初めて感染が確認されてから五千人に到達するまでには六百八十一日かかりており、次の五千人は増加ペースを三十倍に速めて一万人に達した。感染の傾向として、第五波までは比較的高齢者の感染が多く、子どもの感染が少なかつたに対し、第六波では二十代以下の感染が多くみられるという。県健康福祉

(水野志保)

県内では、一人目の感染確認から一年が経過した二年三月までの累計は五百人台だったが、変異株で感染者が増加し、五月十九日に千人を突破。十一月末には感染者数が抑制されていたものの、年明けから感染者が激増。今月に入って判明した感染者数は四千六百四十三人に上り、既に二

県内感染累計1万人超す

用の感染者の合計を上回っている。

指摘。「感染力の強さが第五波までは桁違いで違う。感染予防対策をしっかりする」と減らしていく

たい」と述べ、マスク着用の徹底など基本的な感染対策を続けるよう呼び掛けた。